

図書だより

令和5年 6月号
3年7組図書委員協力

6月になりました。みなさん、お元気ですか？今月は愛媛県総合体育大会がありましたね。出場した選手の皆さん、お疲れ様でした。引退した3年生は、これから受験勉強に切り替えていきましょう。期末テストも終わりましたが、結果はどうでしたか？ジメジメとした暑い季節を元気に乗り越えて、1学期をいい形で締めくくりたいですね。

My Favorite Books

今回は、久保 宏樹教頭先生です！！

Q簡単な自己紹介をお願いします。

教頭の久保宏樹です。趣味は、(度が過ぎた)音楽鑑賞です。
読書は. . . .

中学・高校時代、友人が太宰治を読んでいるなか、私はひたすら洋楽や歌謡曲を中心にラジオやレコードを通して聴いていました。



Q高校時代(大学時代)に感銘を受けた本を教えてください。

だから、学生時代は本をほとんど読んでいません。
大学時代は、本より新聞を読んでいました。友人との待ち合わせ場所も大学図書館の新聞閲覧室。卒業してからの方が、本を読んでいるような気がします。今の仕事につながる作品として、卒業後に読んだのが、横山秀夫さんの『クライマーズ・ハイ』です。横山秀夫さんといえば、『半落ち』『臨場』『64(ロクヨン)』など有名な作品がありますが、私は断然これ！新聞記者が主人公の小説です。

1985年、北関東新聞のある記者が同僚に誘われ、山に挑むはずだった。御巢鷹山で日航機墜落事故が発生し、その全権デスクを命じられる。・・・若い頃、新聞記者としての体験がある筆者だからこそ書ける小説。大きな事件が起きた際、新聞社の緊迫したデスクの雰囲気を感じることができます。ドラマ化・映画化もされていますので、そちらもぜひ。

Qみなさんに読んでほしい本を教えてください。

読みやすい本をあげると、愛媛県出身の作家高瀬隼子さんの作品「おいしいごはんが食べられますように」です。読書が習慣付いていない人でも1～2日で読めてしまう。芥川賞受賞作品でもありますので、話題性もあります。何気ない日常生活のなかの人間関係を描いた作品ですので、深く考えなくても読めます。

Q三高生に一言！

仕事をしていてつくづく思います。学生時代に、もう少し本を読んでいたらよかったと。将来、どんな職業に就くにしても、本はあなたを助けてくれます。今からでも遅くありません。さっそく今日から！

久保教頭先生、ご協力ありがとうございました！！



今回は、307HR 図書委員がおすすめの本を紹介します！

「カーネーション」という本について紹介したいと思います。

この本は、ある過去の事件が原因で自分の娘を愛することができない母、愛子と、母に愛されたいと願い続ける娘、日和とその家族の物語です。

「みんなが一番安心できて心も体も休まることができる場所はおうちですね。」小学校の時、先生に言われた言葉を日和は中学生になった今でも覚えている。しかし、日和にとって「おうち」という場所は緊張し、気を使わなければならない場所だ。小学2年の5月、妹である紅子が生まれた時、日和は母に嫌われているとはっきり確信します。母にやさしく手を握ってもらったり、抱っこしてもらった記憶もない。母が私を見るときは、いつもどこか憂鬱そうで疲れた顔

を見て、紅子を見る目は全く違っていました。それでも日和はいつか母に愛されたい。一緒にお買い物に行ったり、笑いあったりしたい、そう願いながら日々を過ごします。そんな日和の心の支えとなるのが日和と同年で塾が同じの桃吾の存在です。彼もまた両親の離婚、引き取られた父の再婚で複雑な思いを抱え、今は叔父の家で暮らしています。愛子の誕生日であるクリスマスイブの日、家族内である事件が起こり日和は家を飛び出します。行く当てもなく歩く日和を助けてくれたのは桃吾で二人はそこでお互いの悩みを打ち明けます。その日から日和の家族は別々に暮らすようになり、家族として一からやり直す決断をします。同じ空間で過ごすことだけを家族というのか？本当の家族のありかたとは何なのか？家族の大切さやありがたみを改めて感じるができる物語です。ぜひ読んでみてください。



新着図書

魔女と過ごした七日間 著：東野圭吾

その夏、信じられないことばかり起きた。「ラプラスの魔女」シリーズ！AIによる監視システムが強化された日本。指名手配犯捜しのスペシャリストだった元刑事が殺された。「あたしなりに推理する。その気があるなら、ついてきて」不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる。少年の冒険、警察ミステリ、空想科学といった要素が組み合わさった、圧巻の傑作！

その他多くの本が入りました！

- ・ぼんぼん彩句 /宮部みゆき
- ・黄色い家 /川上未映子
- ・悪口と幸せ /姫野カオルコ
- ・ウンコの教室 /湯澤規子
- ・教育論の新常識 /松岡亮二
- ・日本人の承認欲求 /太田肇
- ・見えないものを見る「抽象の目」 /細谷功
- ・値段がわかれば社会がわかる /徳田賢二
- ・「みんな違ってみんないい」のか？ /山口裕之
- ・SDGsがひらくビジネスの新時代 /竹下隆一郎
- ・トヨタに学ぶカイゼンのヒント71 /野地秩嘉
- ・正義の味方が苦手です /古市憲寿
- ・中学入試超良問で学ぶ日本の課題 /おおたとしまさ